互の胸に流れる愛情

ボタ山の陰では今日も斗いが……

斗う京の上の現地ルポ

◇…今日も京の上では、この梅雨空をうらめしげに見上げながら家族ぐるみの苛烈な斗いがつづけられている。九炭労傘下全支部は二十六日一齊に一時間五十分の支援ストをもつて立上つた。春の賃斗をめぐる解決が斗いを長びかせているのだが、去る六月一日、救援カンパをもつて現地におもむいた主婦会四名のうち一行に加わつた永江美由起さん（本部総務部長）は編集部へ次のような現地ルポを寄せられてきた。以下は永江さんのルポによる。

京ノ上斗争支援報告

くら手郡にあるこゝ京ノ上炭鉱は安永という今の社長が戦後開鉱したやまで、満十年儲け主義一本のやり方で、労働者を酷使しその利は実に十億円といわれるそうです。この陰には、今の世の中で通らないはずの労務管理が、ボタ山のかげで行はれていたという事でその悪質な労務政策に気づいた組合が、初めて目ざめ、会社に反省を促しましたのが斗争のいとぐちとなり、昨年十月、十四日間のストを打つたが、其の結果労働主任が、労働者の団結を弱めるために働きかけて、第二組合を遂に結成さして終いましたが、然し第一組合はこの憎むべき主任を、解雇させる努力をして成功したのです。その後、今期春斗には中小鉱の戦列に加はり、第二組合と会社が勝手に大手以下の五三円で妥結したのを不満として、現在なお八十日余強硬に無期限ストを打つているという実態であります。

手を取合って泣く

六月一日

本部より河野会長、不肖私、支部より尾田四山支部長、板井本所支部長以上主婦会代表として四名、教宣部二名、岩山書記、計七名まいりました。

カンパ米は集約の結果、二十五俵に他五、六升袋入り、米の代りに三川支部外来七区からいただきましたカンパ金一二五〇円も共にトラックに積みこみ、本部を午前九時に出発致しました。十一時五十分福岡市の九炭労につき、こゝで早良郡地区のカンパ米（これは炭婦協と自労の人達の同志愛により寄せられたもの）を一緒に積みまして、再び午後一時出発いたしました。福岡県も北の果てといつた感じで、四時二十分やつと目的の京の上につきました。右手に勤労課が見え、少しいつて左手に少さい家に斗争本部と記し赤旗がひるがえつていました。副会長の明賀さんはじめ、孫を抱いたとしより、子供まで飛びだしてきて、三池がきた、三池がきたと、社宅あげての歓迎ぶりで、昨年あの苛烈な斗争にいち早くかけつけ、夜を徹してピケを張る等、力強い支援に本当に頼りにされているのだと思いました。組織を通じてお互の胸に流れるもの（がんばつて下さい。私達応援にきました。決して一歩も後退しないで……）と双方手を取り合つて泣いたものです。

父ちゃん頑張れ

車を下りて直ぐ目にとまつたものは、玄関にはつてあるビラでした（父ちゃんがんばれ、主婦もがんばる。平和な家庭をきずくために京ノ上炭婦協）と一枚の用紙に赤インクでかいて、硝子戸にはつてあるのです。点々とみえないのできてはと思つて問いますと、やつぱり第二組合だという事でした。四戸並んだ社宅で、然も同じ水道を使いながら。軒をつらねて斗争するむずかしさ……。私達の結成当時を思い起して、本当に主婦の立場から考えさせられました。小さな百戸ぐらいの社宅で、第一と第二新坑、旧坑と別々に現場もあるといつた、特殊な処で、現在第一組合員八十三名、第二組合員八十名ぐらいはいるだろう。主に寮生と通勤者が多く社宅には二十名ぐらい住んでいるときゝました。三名残して後、全員就労している土方作業で日給三三〇円ぐらいだし、雨で休んだ日は組合員一人四合、家族一人当り二合半のカンパ米を配給するという事等説明されました。

ヤマが気がかりな組合員

二日目　六月二日

午前九時より京ノ上幹部と私共で懇談会をもちました。倉田組合長より闘争経過報告がなされ

一、会社の現状……一時第一組合を弱体化させるために金品をもつて切崩しにきたが、四月十三日ある事件が起きた。それ以来中止している。表面たつてしないが第二の幹部を使つているようすである。然し会社内部も二つに別れつつある。考え方が古いと意見があわずに……。

二、出炭の状況……普通今まで第一組合員が働いていた時月産四、〇〇〇屯、現在二、〇〇〇屯新採用で半減している。一日産八〇屯三池の八、〇〇〇屯に比してちよつと見当ぼなれです。随分乱掘しているので雨期に入つて思うような出炭もできまい。後は全々不可能な状態になつていようと何とでも山を愛する組合員の言葉に感じさせられました。

動揺する第二組合員

三、第二組合の現状……何時の場合も会社の政策に行動している。具体的に幹部が働きかけてくる。春闘で五十三円とつたが現在の賃金は以前とあまり変らない。労働条件などからしても現実に対する不当が起きて主婦連もカンパの届く第一がうらやましくなり計算してみたら、損をした。第一に復帰したら……と然し組合員は……幾力で押さえられている……ので、遂には家庭争議が起りつつある。

四、第一組合側……昨年の闘争で強くなつて、対立して交渉できる力ができた。温和しい一組合員が社長から「雨の日は困るだろう」といわれて「いいえ、自分は少しも困らない。水洗作業だから坑内では、三三〇円だがここでは三五〇円もらうので……」とはつきりした態度で答えるだけになつた……と。

元氣で土方作業

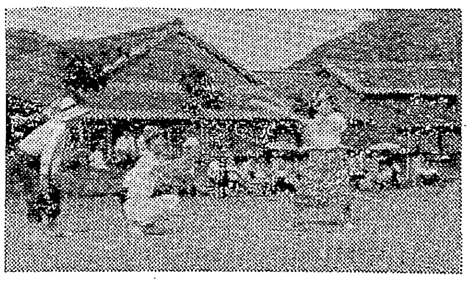
五、生活状態……常駐者三名を除いて組合員、炭婦協会員全部就労している。土方作業です。三菱系のヤマの鉱害で地下りがしている田を地上げしているのですが、帰る途スコップをあげて合図をしてくれました。只頑るのみでなくして、一生懸命まつくろになつて働いていられます。厚生物資の斡旋も三池から教えてもらい、昨年のカンパ金を資本にやつている……と感謝されていました。

中小鉱の奴隷的政策を打ちやぶるべく、闘つている京ノ上に対して心からの支援のことばを残して帰途についたのでございますが、ただたんに京ノ上の問題でなくして私達三池も、しつかり主婦会も団結して組合と共々闘う力をかためてゆかねばならないと痛感いたしました。

○闘へる友をたすけに今ぞゆく
　心のかよふ　一にぎりの米

○団結の二字にあつまる一にぎり
　やまの兄弟　強く　闘へ

本部総務部長　永江美由紀



ソフト・ボール　六月九日、四山支部福一分会では地域総会を行つたが、終了後、班対抗のソフト・ボール大会を行つた。とくにこの班対抗には男ばかりでなく、女も入れて一緒に楽しもうというところから、一班に主婦会から二名の参加を願つて行われたのも有意義だつた。母ちゃんがバツタボツクスに立てば子供たちの声援が大へんだ。なれぬ手つきで、バツトをにぎる主婦たちも、闘志だけは満々としてフリ廻して拍手を受けた。試合は晴天に恵まれて、一日楽しいレクレーションが繰りひろげられた。なお、参加者全員には賞品をおくり喜ばれた。

手を結んだ主婦

三山主婦協議会が結成

懸案だつた三山主婦協議会の結成大会は、去る六月二十二日午後一時より福岡の余香館で田川二十一名、山野十六名、三池十六名、計五十三名で挙行されました。まず大会にさきだち山本参議吉田参議の喜びの挨拶があり、三池の野田さんの開会の挨拶で、三山の組合員ならびに主婦が永年の懸案として待ちに待つていた三つの山の主婦の協議会結成式が始められ、議長には三池の河野さんと山野の生土さんが満場一致で推選されました。

来賓祝辞では西鉱連の渡辺委員長田川労組の本田副組合長、九炭労の花園副委員長ら三氏が大同団結えの喜び、こんごの組合との連繋強化などの内容の挨拶があり、経過報告については三池の藤枝さんより結成までの組合執行部や主婦の人達の苦労、結成えの非常な喜びが報告され満場拍手で異議なく通過。規約審議、行動方針審議などもスムースに運び役員選出ではつぎのごとく決定されました。

会長　牧野　朝子（田川）
副会長　河野　広子（三池）
　小田とし子（山野）
幹事　野田　ヤエ（三池）
　南　光子（三池）
　大浜アヤ子（田川）
　堀田ツネ子（田川）
　倉岡　ハツ（山野）
　郷　いず子（山野）
会計　生土たつの（山野）
　寺田　益子（田川）
　山下　ちか（三池）
監査　秋丸　浪江（山野）
　大倉フジエ（三池）
　永島　ナカ（田川）

会長牧野さんは新役員を代表した就任挨拶で「いままで組合と主婦の間に意志の疎通がありはしなかつたか、三山主婦協議会ができた今日、西鉱連と十分な連絡を取りつつこんごおそいくるであろう諸問題の闘争については組合と主婦会が一体となり、完全な家族ぐるみの強固な力をもつて闘つて行くことを誓います」と述べ、午後二時半とどこおりなく全議事が終了し、こんごの三山主婦協議会が増々発展することを期待された。

主婦の機関紙

四山で「主婦会便り」

四山支部主婦会では去る二十日午前十時から組合二階で第二回定例会議を開いたが、このなかでとくに「主婦会便り」という支部機関紙を発行することがきめられた。この「主婦会便り」の企画は新執行部発足とともに考えられていたもので、月一回の発行が予定されている。

とくにこの機関紙で各分会の動きやお互いの率直な声を出し合い、前進して行こうと話合われ、全員が協力し育成することとなつた。近日中に第一号発行の準備にとりかかつているが、こんごの「主婦会便り」の成長に期待がもたれている。

おそらく主婦会で機関紙を発行するのは、この四山支部がはじめてであろうし、生活の合間につくられる主婦の新聞だけに注目されている。

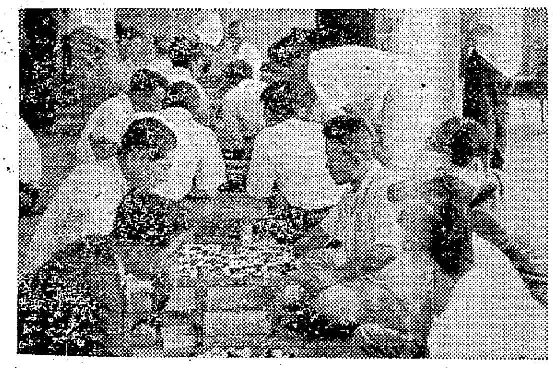
京の上カンパ米

六月二日付の「みいけ」姿見欄に救援カンパ米のことにつきまして、臼井の一主婦の方に一言申しのべさして戴きたいと思います。

京の上の問題は、昨年あの苛烈な闘争を展開し、炭労としましても強力な支援を惜まず要求をかちとつたが、組合が分裂しているということなどご記憶に新たなことと存じます。今年、春闘に際しましても中小鉱も戦列に加わり、全炭鉱加盟の第二組合幹部が、勝手に会社との間に（大手以下の金額）で妥結したのに対して不当だとし、現在無期限ストに入つて　今日まで七十余日間血のにじむ苦しい闘いをつづけてきているのでございます。一にぎりのカンパに対し一合と決定されたとか、それが問題といわれますが、それは何かのあやまりではないかと考えます。天下り式に上部より流れてきたのではなく福炭婦協評議員会でもはつきり一にぎりと打出されていますし、また三池主婦会の支部長会議でも一合と打出してはと強制的になるので、一握りとして会員の皆さま方にお願いしようという統一した意見の決定をみたのです。

その点が一般会員の方に理解されなかつたのは貴女の指摘される通り情宣の不徹底な点十分反省すべきだと思います。しかし、当山元でほんとに困つていられる会員の問題は今までに何らかの形で十分とはいえなくともご援助申しあげたと思います。本当を申しますと、私どもの生活も必ずしも　豊かなものではないのですが、お互の胸に流れるものを思いまして、中小鉱の奴隷的政策を打ちやぶるために闘つている京ノ上に対し同じ組織の流れをもつものとして強く支援すべきではないかと考えましたので、少し意見をのべさして頂きました。

緑ガ丘　一主婦



盤上での大熱戦

三鉱圍•将•連大会終る

三鉱囲碁、将棋、連珠大会は二十三日、本社体育館で午前八時半より開始された。さいきん囲碁、将棋、連珠などレクレーションもかねて職場、地域で急カーブをたどつて普及しており、同好の士もふえているおりから新人の台頭が期待されて盤戦がくりひろげられた。午後五時四十五分の終盤戦まで団体、個人にわたつて盤上で火花が散らされたが、成績はつぎの通りである。

○団体の部
囲碁　一位　三川（一七・五）
　二位　本所（一五）
　三位　四山（一三）
将棋　一位　宮浦（一四）
　二位　四山（一四）
　三位　本所（一四）
　同点のため抽せんによる。
連珠　一位　宮浦（四〇）
　二位　三川（三三）
　三位　四山（二七・五）

○個人優勝
囲碁…一組平山文俊（五）＝本所
　二組山田成男（四）＝四山
　三組金子八郎（五）＝三川
　四組岡村　保（五）＝四山
　五組古川文久（五）＝本所
将棋…一組森下　博（五）＝製作
　二組大坪　寛（五）＝港務
　三組飯川一利（五）＝本所
　四組小川好男（四）＝宮浦
　五組西牟田勝（四）＝宮浦
連珠…一組吉田貞夫（九）＝宮浦
　二組山田　登（九）＝製作
　三組下川光男（七・五）〃
　四組田上　進（九）＝宮浦
　五組沢田　濤（九）＝宮浦

学習に励む主婦

三十日には九大見学も

本所支部主婦たちでつくられている〝研究会〟では去年十二月に発足いらい毎月一回学習を行つていたが、去る二十五日には福岡県子供を守る会々長の浦辻あつ子さんを招いて話を聞き学習を行つた。

昨年十二月四十五名ぐらいで発会式を行つたものだが、発会の契機となつたものは主婦会でもこんごは労働者というものの歴史やどうしたら生活がよくなるかということを考え、勉強して行かなければ発展はないし、町の主婦会と同じになつてしまうのでもつと本質的なものを知つてもらおうと組合が呼びかけを行つてできたものである。

毎月一回この研究会は開いているが、会費は二十円を出し合つている。

現在までは講師として塚本支部長を招いて話を聞いていたが、こんごは女の先生も呼ぼうということで、浦辻さんを招いたものである。

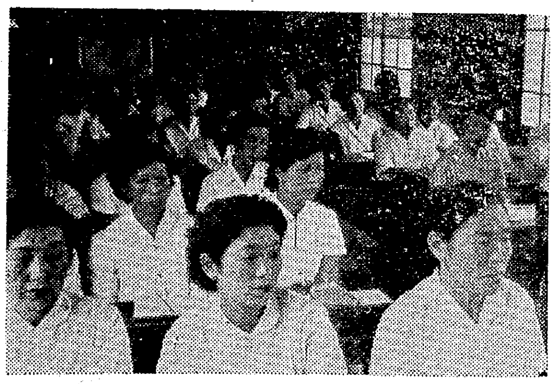
労働組合が会社の勤務時間だけの問題でなく、生活をいかによくするかということが組合運動であるように、主婦も家庭の民主化や子供の教育をどうよりよくするかを真剣に考え女の先生にきてもらつたという。

この日話された浦辻さんの要旨は

子供の教育というものは、自分の子供さえ間違いがないとよいと考えられておつたが、それは間違いだ。学校の教育が集団教育に偏向しているように、家庭においての教育も親だけではなく集団の中から教育を考えなければならない。そうでないと子供の正しい教育はできない。子供も集団の中で生活しているし、教育でも社会化をすべきだ。

子供の良い悪いは親や周囲の環境が子供に映る鏡である。周囲の環境や親の行動が一番大切である。

学習は毎月、午前九時三十分から十二時近くまであつているが、このほかこの研究会としてはこんごの計画として、会費の中から出しあつて、三十日に九大を見学することにしている。



（写真は熱心に聞きいる研究グループの主婦たち）